

仙台入り両陛下 震災説明受ける

12日に仙台市入りした天皇、皇后両陛下に対し、県庁で東北大の専門家が東日本大震災の研究の現状などについて説明した。

東北大災害科学国際研究所副所長の今村文彦教授が、各地を襲った津波の分析や被害の記録を保存する同大の取り組みなどについて両陛下に説明。両陛下からは「高齢化が進み、避難が難しくなりますね」などと熱心な質問があった。

今村教授は「両陛下が震災からの早い復興を本当に願われ、記録を残すことや

防災教育に関心をお持ちだと感じた」と話した。

両陛下は13日、同市若林区の仮設住宅の被災者を見舞った後、市内で開かれる第14回IACIS（国際コロイド・界面科学者連盟）国際会議に出席される。



JR仙台駅に到着した天皇、皇后両陛下。12日午後、仙台市、日吉健吾撮影